

令和4年度
学校法人戸早学園 財務諸表等

- ・ 資金収支計算書
- ・ 事業活動収支計算書
- ・ 貸借対照表
- ・ 財産目録

- ・ 事業報告書
(監査報告書)

令和4年度 資金収支計算書

千円

科目名	決算額
学生生徒等納付金収入	474,762
寄付金補助金収入	221,682
その他の収入	1,267,201
資金収入調整勘定	△ 199,162
前年度繰越支払資金	328,688
資金収入の部 計	2,093,171
人件費経費支出	667,708
その他の支出	1,042,072
資金支出調整勘定	△ 24,909
翌年度繰越支払資金	408,300
資金支出の部 計	2,093,171

* 会計監査について

当学園は矢野真紀公認会計士・税理士事務所に委託し、学校法人会計基準に準拠した会計処理を行い、会計年度の経営状況及び財政状態を適正に表示しているものと認める監査報告書を受理している。

令和4年度 事業活動収支計算書

千円

科目名		決算額	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金収入	474,762
		寄付金補助金収入	220,034
		その他の収入	117,915
		教育活動収入 計	812,711
	事業活動支出の部	人件費経費支出	733,124
		その他の支出	0
		教育活動支出 計	733,124
教育活動収支差額		79,587	
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	11
		その他の教育活動外収入	2,000
		教育活動外収入 計	2,011
	事業活動支出の部	借入金等利息	2,993
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出 計	2,993
	教育活動外収支差額		△ 982
経常収支差額		78,605	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	275
		その他の特別収入	1,906
		特別収入 計	2,181
	事業活動支出の部	資産処分差額	64
		その他の特別支出	0
		特別支出 計	64
	特別収支差額		2,117
〔 予備費 〕			
基本金組入前当年度収支差額		80,723	
基本金組入額合計		△ 58,320	
当年度収支差額		22,403	
前年度繰越収支差額		△ 1,844,241	
基本金取崩額		7,740	
翌年度繰越収支差額		△ 1,814,098	
(参考)			
事業活動収入 計		816,903	
事業活動支出 計		736,181	

* 会計監査について

当学園は矢野真紀公認会計士・税理士事務所に委託し、学校法人会計基準に準拠した会計処理を行い、会計年度の経営状況及び財政状態を適正に表示しているものと認める監査報告書を受理している。

令和4年度 貸借対照表

千円

資産の部	
科目名	決算額
固定資産	1,223,997
流動資産	673,256
資産の部 合計	1,897,253
負債の部	
科目名	決算額
固定負債	331,547
流動負債	469,697
負債の部 合計	801,244
純資産の部	
科目名	決算額
基本金	2,910,106
第1号基本金	2,910,106
繰越収支差額	△ 1,814,097
翌年度繰越収支差額	△ 1,814,097
純資産の部 合計	1,096,009
負債及び純資産の部 合計	1,897,253

*** 会計監査について**

当学園は矢野真紀公認会計士・税理士事務所に委託し、学校法人会計基準に準拠した会計処理を行い、会計年度の経営状況及び財政状態を適正に表示しているものと認める監査報告書を受理している。

令和4年度 財産目録

千円

科目名	決算額
資産額	
基本財産	1,173,070
運用財産	697,740
収益事業用財産	26,443
資産額 合計	1,897,253
科目名	決算額
負債額	
固定負債	331,547
流動負債	469,697
負債額 合計	801,244
正味財産	1,096,009

令和4年度 事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

学校法人戸早学園

監 査 報 告 書

令和 5 年 5 月 31 日

学校法人 戸早学園
理事会・評議員会 御中

学校法人 戸 早 学 園

監 事 木 田 義 孝

監 事 上 村 篤 弘

学校法人戸早学園の監事として、私立学校法第37条第3項に基づいて同学園の令和4年度（令和4年4月1日から令和5年3月31日まで）における学校法人の業務および財産の状況について監査を行いました。その結果につき以下のとおり報告いたします。

記

1. 監査方法の概要

私たち監事は、理事会に出席するほか、理事、法人事務局からその職務の執行状況を徴収し、関係書類を閲覧し、業務および財産の状況を監査しました。また、会計帳簿等の調査を行い、計算書類等について検討を加えました。

2. 監査の結果

- (1) 学校法人の業務に対する決定および執行は適切であり、不正の行為または、法令もしくは寄附行為に違反する重大な事実は認められません。
- (2) 計算書類等は、学校法人の財産の状況および経営の状況を正しく示しているものと認めます。

以上

1 法人の概要

I 法人設立理念

本学園は教育を通じ、人格の陶冶、正しい使命感の体得、教育的愛情を培い、真に有能な人材の育成を行うことを目的とする。

1. 教育理念（全学共通）

- (1) 人類普遍の真理を探求する姿勢の確立
- (2) 個の尊厳、基本的人権擁護の理解と心豊かな人間性の涵養
- (3) 専門的援助に必要な知識・技術の修得

2. モットー

「人が好き」 「人を支える心を学ぶ」

3. 教育方針

人を思いやる豊かな心を持った保育・福祉・医療のプロフェッショナルの育成

II 学校法人の沿革

昭和30年	4月	小倉市菜園場に私塾「小倉育英学館」を開設
昭和38年	4月	小倉育英学館を小倉区金田に移転
昭和39年		苅田町上片島に校地を取得
昭和40年	8月	学校法人戸早学園法人設立 初代理事長戸早孝太就任
昭和42年	4月	小倉南区湯川にいくえい幼稚園開園
昭和44年	4月	苅田町上片島に北九州幼児教員養成所開校 同附属苅田幼稚園開園
昭和45年	1月	厚生大臣より保母を養成する学校として指定
昭和51年	6月	専修学校（教育専門課程）の認可
昭和53年	12月	初代理事長戸早孝太逝去により二代理事長戸早康晴就任
昭和54年	4月	大分県中津市島田に中津育英学館開校 文部大臣より教員養成の無期限指定 第一若草寮竣工
	8月	校名を北九州保育専門学校に変更
昭和59年	3月	中津育英学館を譲渡
平成1年	3月	小倉育英学館廃止
平成2年	4月	介護福祉科（2年課程 1学年定員40名）設置
平成4年	4月	校名を北九州保育福祉専門学校に変更
平成9年	4月	介護福祉科40名定員を80名定員に変更 介護福祉専攻科（1年課程 定員40名）設置
平成11年	2月	二代理事長戸早康晴逝去により三代理事長戸早秀暢就任
平成11年	3月	附属苅田幼稚園新園舎落成 いくえい幼稚園閉園

平成15年	4月	苅田町上片島に北九州リハビリテーション学院（3年課程 理学療法学科・作業療法学科1学年定員40名）を開校
平成17年	7月	行橋市西宮市2丁目に総合福祉施設「はーとプラザとはや」開設
平成18年	6月	第二若草寮竣工
平成19年	4月	北九州保育福祉専門学校介護福祉科80名定員を40名定員に変更
平成20年	7月	小倉南区いくえい幼稚園跡地に賃貸アパート「エアースト湯川」オープン
平成23年	4月	小倉南区国立小倉医療センター敷地内に専門学校北九州看護大学校（3年課程 看護学科 1学年定員40名）開校
平成26年	3月	北九州保育福祉専門学校介護福祉専攻科廃止
平成27年	2月	北九州保育福祉専門学校 幼児教育科・介護福祉科及び北九州リハビリテーション学院 理学療法学科・作業療法学科 文部科学大臣より職業実践専門課程認可
平成28年	2月	専門学校北九州看護大学校 看護学科文部科学大臣より職業実践専門課程認可
平成29年	4月	苅田町与原に苅田町公募の介護付有料老人ホーム「かんだんて」開設
平成30年	4月	北九州保育福祉専門学校介護福祉科の募集停止 内閣府による企業主導型保育事業申請
平成31年	4月	北九州保育福祉専門学校幼児教育科100名定員を50名定員に変更
令和 1年	6月	苅田町与原に企業主導型保育事業「つぼみ保育園」開園
令和 3年	3月	小規模保育園「ショコラ」許認可 北九州リハビリテーション学院作業療法学科1学年定員を30名に変更
令和 3年	4月	小規模保育園「ショコラ」開園
令和 4年	3月	法人事業部（かんだんて）において特定技能（介護）外国人労働者採用
令和 4年	4月	附属苅田幼稚園 満3歳児保育および2歳児保育開始

IV 所在地

学校法人 戸早学園

〒800-0343

福岡県京都郡苅田町上片島 1 5 7 5

TEL 0930-24-6636 FAX 0930-24-8045

北九州保育福祉専門学校

〒800-0343

福岡県京都郡苅田町上片島 1 5 7 5

TEL 0930-23-3213 FAX 0930-24-8045

北九州リハビリテーション学院

〒800-0343

福岡県京都郡苅田町上片島 1 5 7 5

TEL 0930-23-3653 FAX 0930-23-3370

北九州保育福祉専門学校附属苅田幼稚園

〒800-0343

福岡県京都郡苅田町上片島 1 5 7 5

TEL 0930-23-3348 FAX 0930-23-3295

専門学校 北九州看護大学校

〒802-0803

福岡県北九州市小倉南区春ヶ丘 1 0 番 1 5 号

TEL 093-932-0123 FAX 093-932-3388

つぼみ保育園

〒800-0323

福岡県京都郡苅田町大字与原 1 1 5 6 番地

TEL 0930-24-0226 FAX 0930-24-0227

総合福祉施設 はーとプラザ・とはや

小規模保育園 ショコラ

〒824-0031

福岡県行橋市西宮市 2 丁目 2 番 3 5 号

TEL 0930-26-2610 FAX 0930-26-2611

エーアスト湯川

〒800-0256

福岡県北九州市小倉南区湯川新町 4 丁目 7 番 1 号

介護付有料老人ホーム かんだんて

〒800-0323

福岡県京都郡苅田町大字与原 2 0 番 2 号

TEL 0930-24-1088 FAX 0930-24-1880

V 設置する学校・学科等の入学定員・学生数の状況等

学校法人戸早学園

[1. 北九州保育福祉専門学校]

	学 科 名	入学定員	総定員
定員	幼 児 教 育 科	50名	100名
	介 護 福 祉 科	H30より募集停止	-
	合 計	50名	100名

	学 科 名	1学年	2学年	合計
学生数	幼 児 教 育 科	45名 (32名)	44名 (40名)	89名 (72名)
	介 護 福 祉 科	0名 (0名)	0名 (0名)	0名 (0名)
	合 計	45名 (32名)	44名 (40名)	89名 (72名)

[2. 北九州リハビリテーション学院]

	学 科 名	入学定員	総定員
定員	理 学 療 法 学 科	40名	120名
	作 業 療 法 学 科	30名	100名
	合 計	70名	220名

	学 科 名	1学年	2学年	3学年	合計
学生数	理 学 療 法 学 科	32名 (20名)	28名 (30名)	30名 (25名)	90名 (75名)
	作 業 療 法 学 科	10名 (21名)	17名 (11名)	19名 (15名)	46名 (47名)
	合 計	42名 (41名)	45名 (41名)	49名 (40名)	136名 (122名)

[3. 専門学校 北九州看護大学校]

	学 科 名	1学年	2学年	3学年	合計
定員 学生数	看護学科	40名	40名	40名	120名
		44名 (42名)	39名 (42名)	39名 (41名)	122名 (125名)

[4. 北九州保育福祉専門学校附属苅田幼稚園]

		定員	園児数	差異
園児数	2 歳		16名 (19名)	+ 3名
	満 3 歳	20名	4名 (3名)	△ 1名
	3 歳	90名	71名 (98名)	+ 27名
	4 歳	90名	104名 (72名)	△ 32名
	5 歳	90名	96名 (105名)	+ 9名
	合 計	290名	291名 (297名)	+ 6名

※ R4.4より定員変更(満3歳児および2歳児保育開始)

[5. つばみ保育園]

		定員	園児数	差異
園児数	0 歳	6名	6名 (7名)	+ 1名
	1 歳	27名	24名 (23名)	△ 1名
	2 歳	27名	21名 (21名)	± 0名
	合 計	60名	51名 (51名)	± 0名

[6. 小規模保育園 ショコラ]

		定員	園児数	差異
園児数	0 歳	6名	4名 (1名)	△ 3名
	1 歳	6名	8名 (8名)	± 0名
	2 歳	7名	8名 (8名)	± 0名
	合 計	19名	20名 (17名)	△ 3名

* 学校部門 [1~4] の学生数・園児数は学校基本調査(令和4年, 令和5年5月1日)より作成

* つばみ保育園 [5]、小規模保育園ショコラ [6] の園児数は令和4年, 令和5年5月1日の人数

* 学生数・園児数のカッコ内は令和5年度的人数

VI 役員及び教職員の概要

(1) 理事

理 事 長	戸早秀暢	法人事務局 事務局長	苅田町社会福祉協議会 理事
		専門学校北九州看護大学校 学校長	一般社団法人職業教育キャリア教育財団 監事
		つぼみ保育園 園長	
常任理事	中村邦光	法人事業部 部長	
		はーとプラザとはや 施設長	
常任理事	上森哲生	北九州保育福祉専門学校 校長	
常任理事	柴田康弘	北九州保育福祉専門学校附属苅田幼稚園 園長	
理 事	福田玄祥		弁護士 福田・金弘法律事務所
理 事	和田英気		(株)ニシコン 取締役副社長
理 事	朔 晴久		医師 小倉到津病院 理事長兼院長
監 事	上村篤弘		上村紙業(株)代表取締役
監 事	森田義孝		行橋商工会議所専務理事

(2) 評議員

第1号	戸 早 秀 暢	専門学校北九州看護大学校 学校長
〃	中 村 邦 光	法人事業部部長 はーとプラザ・とはや施設長
〃	上 森 哲 生	北九州保育福祉専門学校 校長
〃	柴 田 康 弘	北九州保育福祉専門学校附属苅田幼稚園 園長
〃	野 稲 吉 継	北九州保育福祉専門学校 事務長
〃	辻 和 明	北九州リハビリテーション学院 学院長
第2号	牧 野 洋	(有)ベスト保険 代表取締役
〃	久 篠 守 生	久篠司法書士事務所 所長
〃	佐 藤 弘 樹	法人事業部次長 かんだんて施設長
〃	湊 村 明 彦	北九州保育福祉専門学校附属苅田幼稚園 主任
〃	長 城 晃 一	福岡大学勤務
第3号	坂 本 東 次 郎	(有)坂本不動産 代表取締役
〃	朔 晴 久	医師 小倉到津病院 理事長兼院長
〃	和 田 英 気	(株)ニシコン 取締役副社長
〃	稲 富 武 志	大原病院 副院長
〃	和 田 昭 雄	元戸早学園職員

注) 第1号 … 法人職員のうち理事会で推薦され評議員会で選任されたもの6名
(寄付行為第25条第1項第1号)

第2号 … 法人設置の学校を卒業したもののうち25歳以上で理事会で選任されたもの5名
(寄付行為第25条第1項第2号)

第3号 … 学識経験者のうちから理事会において選任されたもの5名
(寄付行為第25条第1項第3号)

労務構成表

		正規職員	嘱託職員	臨時職員	合計
法人事務局	職員	4	5	1	10
北九州保育福祉 専門学校	教員	2	8	16	26
	職員	4	1	2	7
北九州リハビリ テーション学院	教員	12	1	29	42
	職員	3	1	3	7
専門学校 北九州看護大学校	教員	5	4	82	91
	職員	2	0	1	3
苺田幼稚園	教員	15	1	16	32
	職員	0	4	2	6
つぼみ保育園	職員	12	1	12	25
法人事業部 (はーとプラザ・とはや)	職員	37	1	11	49
法人事業部 (かんだんて)	職員	25	1	4	30
小規模保育園 ショコラ	職員	7	0	0	7
合計	教員	34	14	143	191
	職員	94	14	36	137
	計	128	28	179	328

2 事業の概要

I 令和4年度主な事業活動（総括および年間行事）

1. 北九州保育福祉専門学校

[総括]

保育者養成校としての学生の保育者としての資質能力の育成、及び保育の実践力の養成に関しては、著しい成果を上げていると総括できる。入学してきた学生を2年間という短期間において現場で通用する保育者に育てるため、本校の教員、事務職員は一丸となって、全力で学生をサポートしており、他校の追隨を許さない程きめ細かい指導を行っている。

その成果は、学生の授業評価にも表れており、コロナ禍にも関わらず、80%以上の学生が、本校の授業を受けて良かったと答えている。

また、近隣の保育園、幼稚園からも高い評価を得ており、就職率は令和4年度についても、100%を達成している。卒業生からも、学校の指導や就職のサポートについての感謝の言葉が寄せられている。

課題は学生募集である。定員50名に対し、令和4年度の入学者数は41名、令和5年度は31名である。定員充足率は令和3年度の88%から62%に低迷した。少子化やマスクミによるコロナ禍での保育・医療現場の困難さの報道、さらには若者の都会志向等、様々な要因が考えられよう。しかしながら、コロナ後の今日、子ども家庭庁の新設や政府の「異次元の少子化対策」等、保育士や幼稚園教諭、さらには保育教諭のニーズが高まり、本校の実践的な幼児教育な中身が注目される時代が徐々に来ていると思われる。

今後は、社会人の「学び直し」も取り込みながら、入学者の獲得に全力を挙げていきたい。

[年間行事]

- 4月 2日 第54回入学式
- 4月 4日 1年生OR消費者教育
- 4月25日 特別授業 熊丸先生
- 6月 7日 第1回教育課程編成委員会
- 7月25日 第1回学校関係者評価委員会
- 9月30日 特別授業『劇団ののはなワークショップ』1年
- 10月19日 特別授業 納富先生
- 11月 4日 避難訓練
- 11月16日 学習発表会
- 12月 7日 特別授業 納富先生
- 12月14日 特別授業 納富先生
- 1月26日 特別授業 「性教育」米光先生
- 2月 7日 第2回教育課程編成委員会
- 3月 7日 第53回卒業証書授与式 ステーションホテル小倉
- 3月31日 特別講演「幼稚園教諭として」（村上先生）新年度2年

2. 北九州リハビリテーション学院

[総括]

令和4年度においても新型コロナウイルス感染症の影響が続き「福岡コロナ警報」が発令され、昨年同様に学内外行事の多くが中止となり、学生間交流も含めた社会活動の制限が継続した。その中でもwithコロナが加速され、昨年より多くの臨床実習（病院等施設等）が可能となった。しかし、個々において実習受入れ困難、もしくは実習途中でコロナ感染がまん延して中止となった例もあり、学内実習に切换えた事例があったが、全般的には臨床実習としても現場での経験が修学の差が生じないように配置をして実施できた。

教務運営については、学院OBでもある新任教員が7月より作業療法学科に赴任され、若い目線での教育は元より、募集活動に関しても新しい意見を大いに参考にしている。この学生募集については、北リハの特色をアピールして管理職には高校訪問、専任教員には募集ガイダンスを主に募集活動を行ったが、学生数の増加に至らず昨年度入学生と同数で41名（58.6%）の新入学生となった。しかし昨年の作業療法学科10名の入学数が躍進して21名の入学数となった。逆に理学療法学科が減少した。理由は全く不明である。

国家試験対策は様々な理由で例年以上に難航したが、予想以上の結果であり作業全員合格、理学は2名の不合格に収まった。もはや4か月の国試対策は不可能で1年次からの学習に加え、集中して取り組む姿勢も重要であると強く思えた。

[年間行事]

4月 2日	第20回入学式
5月30日	クラスマッチ→中止
6月 2日	防火避難訓練
7月 2日	第1回教育課程編成委員会
7月23日	第1回学校関係者評価委員会
8月17日～19日	解剖学実習 九州歯科大学（2年生）
9月21日	就職活動セミナー（3年生）
9月26日	就職説明会
10月 7日	マナー講座（1年生）
10月31日	人権セミナー（1, 2年生）
11月25日	地震避難訓練
12月 3日	第2回教育課程編成委員会
12月17日	特別講義『脊椎損傷のリハビリテーション』（2年生）
1月11日	特別講義『急性期・回復期・生活期のリハビリテーションについて』 (PT学科1年生)
1月13日	特別講義『急性期・回復期の作業療法』（OT学科1年生）
1月21日	第2回学校関係者評価委員会
2月19日	第58回国家試験
3月 8日	第18回卒業証書授与式 ステーションホテル小倉
3月11日	入学前セミナー 新年度入学生
3月25日	臨床実習指導者会議

3. 専門学校 北九州看護大学校

[総括]

令和4年度も、年間を通じて新型コロナウイルス感染症対策に終始した結果、当初計画した教育活動が完璧に実践できなかった事は誠に残念であるが、教職員全員が一丸となって一年間無事に終えられた事は、次年度に向けて大きな弾みを付けた。

入口（学生募集）、中身（教育活動）、出口（就職・国家試験）を個別に振り返ると、入学者は42名と定員確保は果たしたが受験者数が伸び悩み、募集のあり方に今後課題を残した。

教育面では、臨地実習が思うように実践できず、教員に多大な苦勞を掛けてしまった点があり、今後アフターコロナで如何様に向き合えばよいのか再検討する余地がかなりある。また、新カリ導入一年目の課題として、今後に備えてネット環境の改善を図るべく設備の増設を施した。

教育の集大成である国家試験は、3名の不合格者が出て、過去ワーストタイという結果となった。しかし、当初目標に掲げていた小倉医療センターへの15名就職は、19名と大幅に上回る結果となり、期待以上の成果を出せた事は今後の進路保証に大きな実績を残せた。以上、感染対策に最重点を置いた一年間の活動の結果として、募集・教育・就職のいずれも良い手応えであった。

[年間行事]

4月 4日	第12回入学式
4月23日	新入生歓迎会、学友会総会
5月12日	ナイチンゲール生誕祭（看護学科1年生）→中止
6月08日	第1回教育課程編成委員会
7月23日	第1回学校関係者評価委員会
9月 2日	2年生保護者会
9月30日	防火訓練（看護学科1, 2年生）
10月9日	指定校・推薦・社会人I入試
10月21日	宣誓式（看護学科1年生）
11月 5日	学校祭（校内で学生関係者のみ）
12月 4日	一般入試I期
12月08日	卒業生懇談会
12月14日	第2回教育課程編成委員会
1月21日	第2回学校関係者評価委員会
1月29日	一般入試II期・社会人II期入試
2月12日	第112回国家試験
3月 5日	一般入試III期
3月10日	10回卒業証書授与式（小倉医療センター体育館）

4. 苧田幼稚園

[総括]

令和4年度事業活動報告として、安定した園児数の確保のため実施した2歳児クラスは、経験のある教諭を配置したこともあり、園児も保護者の方も安心して園生活を送ることができており、評価に値する初年度となった。令和5年度の募集を35名定員としたが、近隣園との競合や少子化の影響、保育時間等に課題があり、20名と伸びやんだ。今後、近隣状況を踏まえ、他部門と協議して課題対応をしていきたい。自然環境を生かした保育では、戸外での昼食実施や山への散策、自然物を使った製作等、保育内容に取り入れることを意識し、計画・実施ができ、本園ならではの保育活動となった。一方、このような取り組みを配信することができていない部分が反省である。本園の豊かな環境、保育内容をより保護者の方達に伝えるとともに、令和5年度はコロナ禍以前のような活動を実施し、定員確保につなげていきたい。

[年間行事]

- 4月 8日 入園式
- 6月10日 避難訓練(地震)
- 7月 1日 プール開き
- 7月31日 デイキャンプ(年長組)
- 9月 4日・10日 入園説明会
- 10月 4日・6日 運動会見学日(保護者観覧人数制限有)
- 10月16日 大運動会(保護者観覧人数制限有)
- 10月18日 平尾台遠足(年長組)
- 10月21日 避難訓練(火災:苧田町消防本部指導有)
- 10月25日 メタセの杜遠足(年少組)
- 11月 1日 総合公園遠足(年中組)
- 11月 9日・10日 芋ほり
- 12月17日・18日 お遊戯会
- 1月23日 お店屋さんごっこ
- 2月17日 避難訓練(地震・津波)
- 3月 4日 竹馬大会
- 3月16日 卒園式

5. つばみ保育園

[総括]

令和4年度事業活動報告として、「定員60名の安定的な確保」は、昨年度同様、2歳児クラスの定員確保への課題がみえた。「安心で安全な保育提供と保護者支援」は、園内研修、外部研修を通して、保育の質の向上に努め、子どもを取り巻く環境や保護者支援において職員一丸となって取り組んでいた。「自治体・地域との連携強化」は、自治体との連携も継続的にスムーズであり、更なる強固なものを築いていきたい。また、有効な企業との契約ができており、安定的な入園希望者（企業枠）へとつながるものとなっている。

総合的にみると、安心で安全な保育提供、保護者支援の構築ができています。運営面でも安定を見せており、評価に値すると考えています。一方、2歳児クラスの定員確保や少子化対策など課題もあり、今後も対応策等検討し努めていきたい。

[年間行事]

- 5月10日・11日 内科検診
- 5月12日 届出保育施設等の立入調査（福岡県田川保健福祉事務所監査指導課）
- 6月1日 開園三周年
- 7月9日 夏祭り
- 7月27日 歯科検診
- 9月1日 立入調査（児童育成協会）
- 10月18日 防犯・不審者訓練（行橋警察署依頼）
- 10月22日 親子ふれあい参観日
- 11月10日 2歳児芋掘り（苺田幼稚園）
- 11月9日・11日 内科健診・
- 1月4日 令和5年度入園申込受付開始
- 2月18日 親子ふれあい参観日
- 3月24日 防犯・不審者訓練（園内職員のみ）
- 3月29日 2歳児お別れ遠足（苺田幼稚園）
- ※ 毎月・・・健康診断 避難訓練 苺田幼稚園への園外保育（1歳児・2歳児・・・5月から実施）

6. 法人事業部

[総括]

令和4年度は特定施設部門において、「グランドホームゆくはし」については、前年度と比較して飛躍的に稼働率を向上させることができ（年間平均稼働率91.7%）、黒字で期末を迎えることができた。「かんだんて」については、上期は高い稼働率であったが下期は稼働率が低下した（年間平均稼働率92.3%）。収支については若干の赤字を計上する結果となった。

人材確保においては、「グランドホームゆくはし」は年間離職率2.2%という安定した運営を行うことができたが、「かんだんて」については年間離職率25.6%と開設以来2番目の高い数値で、運営の安定に課題を残す結果となった。両施設ともに引き続き中間管理職や一般職員の育成に関しては課題を残している。

託児部門においては、黒字化できる要素はないが、最少人数で最大限の園児受け入れを行うことにより、前年度と比較して更に赤字幅を縮小することができた。

法人事業部全体の結果としては、託児部門の赤字がネックとなり退職金引当等の決算処理実施後は多少のプラス収支が予測される。

7. 小規模保育園ショコラ

[総括]

令和4年度は知名度も定着し、期首から定員の19名を超えてスタートすることができ（定員の120%まで受入可能）、年間平均稼働率113%の結果となり、予算通りの黒字を挙げることができた。職員の確保については育成に課題は残るものの、年度を通して安定した状況であった。

[年間行事]

- 4月 1日 令和5年度開園
- 6月 9日 内科健診
- 7月19日 歯科検診
- 7月19日 プール開き
- 9月21日 防犯・不審者訓練
- 10月31日 どんぐり拾い（行橋総合公園）
- 11月 4日 七五三参り（正八幡宮）
- 11月10日 2児芋掘り（苺田幼稚園）
- 11月17日 内科健診
- 11月20日・12月3日 保育参観・お遊戯会
- 12月 8日 お遊戯会練習見学（苺田幼稚園）
- 12月27日 お餅つき大会見学（グランドホームゆくはし）
- 1月10日 初詣（正八幡宮）
- 2月 3日 おたふくくぐり（正八幡宮）
- 3月18日 2歳児お別れ遠足
- ※ 毎月・・・身体測定・避難訓練・誕生日会
- ※ 苺田幼稚園への園外保育（2歳児・・・11月、1月、2月、3月参加）

8. 法人事務局

[総括]

本年度は昨年開設した「小規模保育園ショコラ」を含む各部門の安定的な運営を行う事を目標とした年度であり、法人事務局としても、各部門の運営を人事・財務・総務の業務を通じて、全面的に各部門をサポートすることに注力した年であった。財務面では、入学（入園）希望の学生・園児数の減少の影響は大きく、各部門において令和4年度入学（入園）者数は、減少または横ばいとなり、本年度以降数年間の学納金収入に大きな影響をもたらす結果となった。支出においても、電気料金・ガス料金の値上げ、原油高による物価高騰等の影響は大きく、事務局主導で契約の見直しによる料金の値下げ（エレベーター保守点検、複合機印刷単価等）など経費削減策に積極的に取り組んだが、経費支出が増加する結果となった。次年度は経営改善5ヶ年計画の最終年度（5年目）となる。計画目標達成と共に、令和5年度からの新たな中期計画の策定準備に取りかかる必要がある。

* 令和4年度に実行した大型設備投資は以下の通り

北九州保育福祉専門学校エアコン付替工事（26号教室ほか） 4,400,000円

苅田幼稚園非常用発電機修繕 1,016,400円

北九州看護大学校 Wi-Fi ネットワーク工事 3,157,000円

北九州リハビリテーション学院学生送迎用マイクロバス 4,127,340円

* 東九州自動車道4車線化工事完了後にネクスコ西日本より受管した施設

排水施設・防護柵・舗装工・他附帯工 38,582,390円

（北九州保育福祉専門学校・北九州リハビリテーション学院の施設として）

9. 広報部門 ※専門学校3校

[総括]

オープンキャンパスは、例年に比べ参加者の偏りが見られ受験にも相対的に結びつかない結果となった。各校要因として考えられることは、18歳人口減少は総合的な問題。北保は近隣の同系統の短期大学の入学金減免等の攻勢を続けていることと、幼児教育を目指す学生の減少が考えられる。カリキュラムの充実や面倒見の良い学校であることだけでは、定員充足低下の歯止めがかけられない。北リハは、今年度は理学が特に苦戦。近隣ライバル校2校への流入に歯止めが利かない。学費差と立地条件によるものと考えている。必ずなれる学校でのアピール策を講じている。北看は看護学科を持つ大学の増加と4年制大学への入学志向と看護志望離れが考えられ、オープンキャンパスや受験への流入減少となった。入試問題の変更による社会人受験者は増加していることは良い傾向であった。出前オープンキャンパスやWeb戦略といった新たな取り組みを行い学生の確保に努めた。

10. 職業訓練委託事業による入学

福岡県立小倉高等技術専門校より職業訓練の委託を受け令和4年度入学生を受け入れた。

幼児教育科 7名

II 就職状況

卒業生の就職状況は好調を維持している。求人数、就職内定率は以下のとおりである。

	求人数	就職内定率
幼児教育科	4,013件	100%
理学療法学科	2,261件	100%
作業療法学科	2,063件	100%
看護学科	4,706件	100%